

広域観光・文化振興の取組

■ 「関西観光・文化振興計画」に沿った施策の展開

平成 24 年 3 月に、関西から日本の元気を取り戻す、観光・文化から日本の元気を取り戻すという高い目標を掲げて「関西観光・文化振興計画」を策定。令和 4 年 3 月には、10 年間の計画期間が満了するため、令和 4 年度から令和 8 年度までを計画期間とする「第 2 期関西観光・文化振興計画」を策定しました。

「第 2 期関西観光・文化振興計画」は、2022 年度の文化庁の関西移転、2025 年の「大阪・関西万博」の開催等を新たなステージに向けた成長への好機と捉え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響や、持続可能な開発目標（SDGs）、DX などの時代の変化に対応し、関西が一丸となって取り組む国際観光振興及び文化振興の戦略を示すものとしています。

この計画に基づき、関西で観光・文化振興に取り組む自治体や関係機関、経済団体等と連携し、「ONE 関西」として、関西が一体となった戦略的な取組を進めています。

計画に掲げた将来像等

- ・将来像 新時代の文化・観光首都の創造
- ・数値目標 新型コロナウイルス感染症の影響やインバウンド観光の回復時期等が見通せないため、今後計画の見直しを行う際に、指標及び目標値を設定

<将来像実現のための7つの戦略>

1. 文化をはじめとする多様な関西の魅力を活かした持続性の高い観光の推進

文化を活用した「KANSAI」ブランド力の向上と情報発信、文化財・生活文化等の観光資源化、「歴史・伝統・文化」等による観光の推進 など

2. 関西の観光・文化分野における DX の促進

効果的なマーケティングの実施、新技術の活用、交通アクセス等の利便性向上

3. 多様な観光客への対応

生活習慣や文化の違い等に配慮した受入環境整備、多様なニーズへの対応強化

4. 関西文化に親しむ機会の創出

関西文化の振興と連携促進、連携交流による関西文化の一層の向上

5. 関西文化の次世代への保存・継承と発展

関西文化の次世代を担う人材育成、関西の文化活動への支援

6. 「大阪・関西万博」等を活用した観光・文化の推進

「大阪・関西万博」参加者等に対する広域周遊の促進、「大阪・関西万博」に向けた環境整備等、「大阪・関西万博」のレガシーの活用

7. 推進体制の確立・強化

関西文化を支えるプラットフォームの活用、関西広域の国際観光推進 など

■ 令和4年度予算

「第2期関西観光・文化振興計画」に沿って、特に戦略的に取り組むことについて、当初予算で108,387千円を計上しています。

令和4年度分野予算

- ・ 関西ブランドの向上（42,620千円）
テーマ別観光推進事業、海外観光プロモーションの実施、関西観光本部事業 など
- ・ 基盤整備の推進（14,500千円）
関西周遊環境整備事業、通訳案内士等の人材育成
- ・ ジオパークの魅力発信・周遊促進（1,100千円）
国内外に向けた魅力発信、ジオパークを巡る周遊観光促進
- ・ 関西文化の魅力発信（49,757千円）
関西文化の振興と国内外への魅力発信、関西文化の次世代継承、文化庁移転等を契機とした関西文化の振興 など
- ・ 管理費（410千円）

■ 取組状況

1 関西ブランドの向上

世界の観光マーケットにおいては、関西（KANSAI）の知名度はまだまだ低い状況にあり、外国人観光客誘客に向けて、ブランドとしての優位性を確保する必要があります。

このため、個々のイメージではなく、「KANSAI」という一つのブランドで積極的に海外に向けて発信する取組みを展開します。

（1）関西観光・文化振興計画の推進

平成23年度に策定した、「関西観光・文化振興計画」の計画期間が令和3年度までであることから、各分野の有識者等からなる策定委員会を設置及び令和2年度から2ヵ年で5回実施し、令和4年3月に「第2期関西観光・文化振興計画」を策定しました。

「第2期関西観光・文化振興計画」は令和4年度から令和8年度までの5年間の計画期間としており、計画の進捗管理等を行います。

（2）テーマ別観光推進事業

関西の新たな魅力の創出に向け、関西に点在する文化財、食、自然などの観光資源をテーマやストーリーでつなぐ「テーマ別観光」を展開しており、特に、世界文化遺産や国宝等に指定され、海外からの関心も高い、各地の歴史的資源である関西の「城」をテーマに勉強会等を実施するほか、城周辺の魅力の発掘に取り組むなど、本格的なインバウンド回復に向けた準備を進めています。

(3) 海外観光プロモーションの実施

2025 年の大阪・関西万博の開催を見据えた関西への観光誘客の促進に向け、関西各地の歴史や文化、産業など多様な魅力を発信力のあるメディア等を活用して世界に向けて紹介するとともに、12 月に奈良県で開催される「UNWTO ガストロノミーツーリズム世界フォーラム」への出展等により、関西（KANSAI）ブランドの発信等の取組を進めています。

(4) 関西観光本部事業

「関西観光・文化振興計画」の推進役として、関西広域連合を含む官民が一体となり設立された一般財団法人関西観光本部が、文化観光やスポーツ観光など関西をアピールする様々なプロモーションや、府県市や地域 DMO 等の参画団体との個性を活かした関西ならではの連携事業を展開しており、その費用の一部を負担しています。

令和 4 年度については、6 月以降、インバウンド受入れが再開され、水際対策も緩和されてきましたが、本格的な回復までにはまだ時間を要すると見込まれることから、それまでの間の取組として、国内の観光客への需要喚起を進めるとともに、デジタルプロモーションによる情報発信や関西域内の周遊促進・環境整備など本格的なインバウンド回復を見据えた準備を進めています。

< 関西観光本部の主な活動 >

- ① 海外の現地情報の収集と分析
- ② 国内観光需要の喚起
 - ・ 国内向け観光情報サイト「プレミアム関西」による情報発信
- ③ インバウンド回復に向けて関西の訴求力を高める情報発信
 - ・ 観光情報サイト「The KANSAI Guide」の内容充実や多言語化（仏・スペイン・繁体・簡体）
 - ・ 海外プロモーションや商談会（デジタル含む）への参加
 - ・ 国内外のエージェント等を対象としたファムトリップやメディアツアーの実施
 - ・ 訴求力のある海外旅行誌やガイドブックへの情報掲載
- ④ 関西の周遊促進に向けた準備
 - ・ 広域周遊観光ルートの着実な形成・推進
 - ・ 多言語パンフレットなど広域周遊観光ツールの整備
 - ・ テーマツーリズムの推進及び調査事業の実施 など

(5) web による情報発信

関西観光本部の HP である「The KANSAI Guide」において、観光地等の情報を発信しているほか、SNS でも合わせて情報発信しています。



観光情報サイト「プレミアム 関西」

2 基盤整備の推進

観光振興のための人的インフラである、全国通訳案内士の登録業務や関西観光本部と連携して通訳案内士向けの研修会等を行っています。また、関西観光本部において、府県市や地域DMO等と協力し、広域周遊観光ルート「THE EXCITING KANSAI」の形成を進めるなど、関西域内の周遊を促進するための環境整備を進めています。

3 ジオパークの魅力発信・周遊促進

関西広域観光の幅を広げ、外国人観光客の関西各地への周遊を促進するため、関西の優れた地質景観スポットを海外に情報発信しています。

令和4年度は、旅行会社、通訳案内士を対象とした南紀熊野ジオパークエリア（和歌山県）でのファムトリップの実施や国内外への情報発信に加え、外国人観光客のジオパークでの周遊を見据えて、ジオパークに通じた人材の育成等を実施します。

4 文化振興の取組

（1）関西文化の振興と国内外への魅力発信

関西元気文化圏の取組として、関西2府8県4政令市の美術館・博物館・資料館等の文化施設等の協力を得て、常設展等を無料とする「関西文化の日」を実施します。

令和4年度は、歴史文化遺産をテーマやストーリーで結び魅力を発信するとともに、周遊ルートを造成し、文化観光を推進します。

また、11月を「関西文化月間」と位置づけ、芸術文化情報サイト「関西文化.com」において文化施設等の情報を発信します。



（2）連携交流による関西文化の一層の向上

関西広域連合エリアには、世界文化遺産をはじめ有数の歴史文化遺産が集積しており、その魅力の効果的な発信や、各地域が交流し研鑽することにより関西の文化力を高めるため、文化庁や観光関係団体と連携し、フォーラムの開催など、日本遺産や文化観光等共通テーマを定めて関西の歴史文化遺産を一体的に広く情報発信します。

令和4年度は、令和5年1月～2月に京都市内において「ユニークベニューの活用による地域振興」をテーマに歴史文化遺産フォーラムの開催を予定しています。

（3）関西文化の次世代継承

文化庁の伝統文化親子教室事業を活用し、小中学生を対象に、「おうちで楽しもう!!オンラインde伝統文化教室」（歌舞伎、日本舞踊、麒麟獅子舞、阿波踊り、丹後二俣紙、奈良墨、根来塗、甲賀流忍術体験コース）を実施するとともに、実施後は関西広域連合のYouTubeチャンネルでのアーカイブ配信を行います。



（４）産学官連携による関西文化の創造

（公社）関西経済連合会、関西元気文化圏推進協議会等のメンバーで構成する「文化創造・交流プラットフォーム」による多分野交流を通じて、関西から次世代の新しい日本文化を創造し発信する取組を推進します。

令和４年度は、大阪・関西万博に向けた取組と企業と芸術家の共創による文化創造の取組を実施します。

（５）文化庁移転等を契機とした関西文化の振興

関西文化の情報を一元的に扱うポータルサイトの開発、サイト利用情報などビックデータの活用、AI による利用者の好みに応じた文化情報等の提案や文化施設を巡るデジタルパスポートの発行などにより関西文化の魅力を国内外に発信するとともに、文化・観光イベント等の機会を活用し、関西を代表する舞台芸能、地域の伝統芸能等の魅力を国内外に広く PR するとともに関西への誘客促進を図ります。

令和４年度は文化関連サイトの一元化とデジタルパスポートの基本設計を行うとともに、関西８ヶ所で各地の民俗芸能の実演を行います。

